

## 2025年3月期 取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社では、コーポレート・ガバナンス強化の一環として、取締役会の実効性の分析と評価ならびにその改善に向けた取り組みの検討といった継続的なプロセスに取り組んでいます。このたび、2025年3月期についての分析と評価が完了しましたので、その概要をお知らせします。なお、分析と評価の方法ならびに評価結果の概要の開示方法については、「AREホールディングス コーポレート・ガバナンス基本方針」にも記載しています。

### 1. 2025年3月期の分析と評価の方法

6つの評価カテゴリー毎に、複数の評価項目からなるアンケート調査票を、監査等委員である取締役を含む全ての取締役に配布し、全ての取締役から回答を得ました。評価結果については、取締役会で報告の上検討を行いました。

#### 〔アンケートにおける評価カテゴリー〕

- ① 企業戦略等の大きな方向性の議論
- ② 適切なリスクテイクを支える環境整備
- ③ 実効性の高い監督の遂行
- ④ 株主等との適正なコミュニケーション
- ⑤ 取締役会の構成
- ⑥ 取締役会の運営

### 2. 2025年3月期の評価結果の概要

取締役会全体の実効性についての評価結果の概要は、以下のとおりです。

- ① 企業戦略等の大きな方向性の議論  
持続的な成長を見据えた議論により中長期ビジョンが策定され、経営の方向性の共有および議論が実施できている。
- ② 適切なリスクテイクを支える環境整備  
執行側でよく検討された内容について社外取締役が報告を受け、質問等をする機会が十分にあった。引き続きタイムリーかつ的確な意思決定のための情報共有を期待する。
- ③ 実効性の高い監督の遂行  
取締役会以外にも社外取締役と業務執行取締役とのディスカッションの場があり、業務執行状況の監督が十分に行われている。継続を希望する。
- ④ 株主等との適正なコミュニケーション  
以前と比較して、任意の情報開示により積極的になった。IR活動について定期的に報告があり、株主等の関心事項について共有されている。
- ⑤ 取締役会の構成  
異なった知見、スキルを持った方がバランスよく取締役に就任している。取締役会の資料は事前に配布され、十分に目を通して取締役会に出席できている。現場視察や現場の社員と直接話をする機会があると、より現場の状況を把握することができて尚良い。
- ⑥ 取締役会の運営  
審議が必要な議案は十分に時間をかけており、また開催頻度も適切である。サステナビリティ委員会報告時間がやや短く感じるため、目標に対する進捗を振り返り議論を深める機会があれば尚良い。

### 3. 実効性向上に向けた施策

次の施策を講じることで、取締役会運営の実効性を向上させ、コーポレート・ガバナンスの一層の強化に努めます。

- ・ 経営幹部と社外取締役との意見交換会や現場視察を実施し、業務執行状況について適切な情報共有を行うことで、効果的な議案の討議を促す。
- ・ 経営に大きな影響を与える重要案件については、リスク評価が出来る資料を揃え、より活発な議論の実施を支援する。

以上

本件に関するお問い合わせ先：  
AREホールディングス株式会社 総務法務部  
東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー11F  
電話：03 (6270) 1818